

- ① 高等学校等進学希望者の割合は96.6%で、前年同期より0.3ポイント低下しました。（下表2行目）
また、進学希望校未定者を合わせた高等学校等進学希望者総数の割合は99.0%で、前年同期より0.2ポイント低下しました。（下表19行目）
- ② 全日制高校への進学希望者の割合は89.4%で、前年同期より1.1ポイント低下しました。（下表3行目）
- ③ 就職のみ希望する者の割合は0.2%で、前年同期と同率でした。（下表14行目）

○令和4年10月1日現在の進路希望状況

区分	令和4年10月1日現在		前年同期		前年同期との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1 中学校等卒業予定者数	63,429人	100.0%	63,359人	100.0%	70人	
2 高等学校等進学希望者	61,243人	96.6%	61,382人	96.9%	△139人	△0.3P
3 全日制高等学校	56,732人	89.4%	57,325人	90.5%	△593人	△1.1P
4 県内合計	52,908人	83.4%	53,472人	84.4%	△564人	△1.0P
5 国立	274人	0.4%	208人	0.3%	66人	0.1P
6 公立	42,476人	67.0%	43,433人	68.6%	△957人	△1.6P
7 私立	10,158人	16.0%	9,831人	15.5%	327人	0.5P
8 県外合計	3,824人	6.0%	3,853人	6.1%	△29人	△0.1P
9 定時制高等学校	750人	1.2%	709人	1.1%	41人	0.1P
10 通信制高等学校	2,449人	3.9%	2,054人	3.2%	395人	0.7P
11 高専・中等教育・別科	119人	0.2%	112人	0.2%	7人	0.0P
12 特別支援学校	1,193人	1.9%	1,182人	1.9%	11人	0.0P
13 専修学校等進学・入学希望者	118人	0.2%	82人	0.1%	36人	0.1P
14 就職のみ希望者	106人	0.2%	117人	0.2%	△11人	0.0P
15 その他の者	1,962人	3.1%	1,778人	2.8%	184人	0.3P
16 進学希望校未定者	1,520人	2.4%	1,463人	2.3%	57人	0.1P
17 進路未定者	338人	0.5%	248人	0.4%	90人	0.1P
18 上記以外の者	104人	0.2%	67人	0.1%	37人	0.1P
19 高等学校等進学希望者 +進学希望校未定者	62,763人	99.0%	62,845人	99.2%	△82人	△0.2P
20 再掲 進学・入学希望者のうち 併せて就職を希望する者	24人	0.0%	31人	0.0%	△7人	0.0P

令和4年10月1日現在中学3年生の進路希望調査

10月1日現在の県内私立高校(全日制)の進学希望者の今年度, 前年度との比較です。注)併設附属中からの希望者を含みます。

私立【令和4年10月1日】				中学在籍				私立【令和3年10月1日】				中学在籍
区分		進学希望者		5月1日	前年度比較			区分		進学希望者		5月1日
学校名	男	女	計	計	男	女	計	学校名	男	女	計	計
聖望学園	89	71	160	53	-5	24	19	聖望学園	94	47	141	41
細田学園	81	70	151	41	-23	-12	-35	細田学園	104	82	186	24
浦和麗明	104	93	197		11	-36	-25	浦和麗明	93	129	222	
淑徳与野		267	267	145	0	38	38	淑徳与野		229	229	116
慶應義塾志木	152		152		17	0	17	慶應義塾志木	135		135	
山村国際	76	92	168		-9	-1	-10	山村国際	85	93	178	
本庄第一	98	83	181	32	7	9	16	本庄第一	91	74	165	37
正智深谷	108	72	180		-13	1	-12	正智深谷	121	71	192	
大宮開成	171	131	302	92	-2	-47	-49	大宮開成	173	178	351	186
叡明	145	187	332		10	33	43	叡明	135	154	289	
山村学園	90	168	258		7	15	22	山村学園	83	153	236	
本庄東	129	108	237	106	-13	11	-2	本庄東	142	97	239	83
立教新座	302		302	200	7	0	7	立教新座	295		295	206
武蔵越生	125	40	165		12	-3	9	武蔵越生	113	43	156	
狭山ヶ丘	93	53	146	52	15	3	18	狭山ヶ丘	78	50	128	23
武南	115	82	197	26	-11	-15	-26	武南	126	97	223	18
東京成徳大深谷	79	53	132	5	4	-10	-6	東京成徳大深谷	75	63	138	9
東邦音大附東邦第二	5	10	15		1	-3	-2	東邦音大附東邦第二	4	13	17	
浦和実業学園	230	204	434	97	24	75	99	浦和実業学園	206	129	335	76
星野	113	253	366	170	-10	-13	-23	星野	123	266	389	145
浦和明の星女子		175	175	174	0	-1	-1	浦和明の星女子		176	176	176
大妻嵐山		86	86	48	0	0	0	大妻嵐山		86	86	58
浦和ルーテル学院	34	60	94	88	-5	10	5	浦和ルーテル学院	39	50	89	75
城西大学付属川越	154		154	83	20	0	20	城西大学付属川越	134		134	74
埼玉栄	377	299	676	207	58	38	96	埼玉栄	319	261	580	142
武蔵野音楽大附	1	5	6		-1	1	0	武蔵野音楽大附	2	4	6	
栄東	196	123	319	291	-29	-30	-59	栄東	225	153	378	336
浦和学院	224	196	420		23	-8	15	浦和学院	201	204	405	
秀明	36	27	63	60	-2	4	2	秀明	38	23	61	54
昌平	144	124	268	101	-42	-16	-58	昌平	186	140	326	119
獨協埼玉	128	126	254	158	16	24	40	獨協埼玉	112	102	214	157
春日部共栄	151	106	257	115	2	-19	-17	春日部共栄	149	125	274	127
城北埼玉	149		149	127	8	0	8	城北埼玉	141		141	112
西武台	138	110	248	43	6	24	30	西武台	132	86	218	33
秀明英光	80	28	108		17	9	26	秀明英光	63	19	82	
西武学園文理	117	64	181	105	-5	-7	-12	西武学園文理	122	71	193	105
秋草学園		128	128		0	24	24	秋草学園		104	104	
早稲田大学本庄	143	131	274		-9	0	-9	早稲田大学本庄	152	131	283	
花咲徳栄	124	105	229		5	-49	-44	花咲徳栄	119	154	273	
開智	260	204	464	412	19	46	65	開智	241	158	399	348
開智未来	53	45	98	101	-10	-8	-18	開智未来	63	53	116	107
川越東	202		202		7	0	7	川越東	195		195	
埼玉平成	104	43	147	9	22	-2	20	埼玉平成	82	45	127	13
東京農業大学第三	187	77	264	60	18	0	18	東京農業大学第三	169	77	246	63
自由の森学園	65	61	126	79	-19	13	-6	自由の森学園	84	48	132	87
東野	39	34	73		14	17	31	東野	25	17	42	
国際学院	83	54	137	12	23	8	31	国際学院	60	46	106	10
栄北	117	99	216		5	10	15	栄北	112	89	201	
私立計	5611	4547	10158	3292	170	157	327	私立計	5441	4390	9831	3160

東京都 公立小学校卒業者の進路状況推移 令和4年4月

地区名	卒業者			都内中学校等への進学者						都内
				全体	区立	国立	私立			私立の割合
	計	男	女	計	計	計	計	男	女	全体
平成28年度	91 979	47 407	44 572	90 465	74 400	439	15 626	7 544	8 082	16.99
29	90 297	46 614	43 683	88 781	72 095	413	16 273	7 985	8 288	18.02
30	94 580	48 947	45 633	93 004	75 598	453	16 953	8 365	8 588	17.92
令和元年度	96 868	50 053	46 815	95 288	77 021	408	17 859	8 626	9 233	18.44
2	97 695	50 524	47 171	96 132	77 438	413	18 281	8 934	9 347	18.71
3	98 239	50 893	47 346	96 419	76 975	419	19 025	9 374	9 651	19.37
区 部	62 887	32 652	30 235	61 528	45 787	338	15 403	7 624	7 779	24.49
市 部	34 674	17 907	16 767	34 222	30 539	81	3 602	1 744	1 858	10.39
郡 部	482	235	247	476	459	—	17	5	12	3.53
島 部	196	99	97	193	190	—	3	1	2	1.53
千代田区	515	269	246	481	282	6	193	90	103	37.48
中央区	1 157	604	553	1 053	597	9	447	215	232	38.63
港区	1 533	807	726	1 423	772	15	636	318	318	41.49
新宿区	1 570	803	767	1 543	981	14	548	255	293	34.9
文京区	1 617	841	776	1 602	779	31	792	420	372	48.98
台東区	1 077	562	515	1 055	707	11	337	166	171	31.29
墨田区	1 705	901	804	1 679	1 394	—	285	150	135	16.72
江東区	3 949	2 016	1 933	3 865	2 719	19	1 127	565	562	28.54
品川区	2 036	1 037	999	1 975	1 315	6	654	300	354	32.12
目黒区	1 646	880	766	1 614	945	17	652	332	320	39.61
大田区	4 830	2 531	2 299	4 724	3 615	23	1 086	511	575	22.48
世田谷区	6 256	3 293	2 963	6 078	3 871	33	2 174	1 081	1 093	34.75
渋谷区	1 125	568	557	1 112	706	17	389	197	192	34.58
中野区	1 701	894	807	1 679	1 208	12	459	218	241	26.98
杉並区	3 530	1 860	1 670	3 467	2 342	37	1 088	578	510	30.82
豊島区	1 440	735	705	1 419	932	9	478	221	257	33.19
北区	2 113	1 130	983	2 068	1 569	8	491	267	224	23.24
荒川区	1 462	765	697	1 421	1 130	7	284	156	128	19.43
板橋区	3 748	1 887	1 861	3 723	3 099	16	608	284	324	16.22
練馬区	5 489	2 783	2 706	5 407	4 428	23	956	455	501	17.42
足立区	5 303	2 735	2 568	5 238	4 558	5	675	338	337	12.73
葛飾区	3 469	1 808	1 661	3 382	2 898	7	477	233	244	13.75
江戸川区	5 616	2 943	2 673	5 520	4 940	13	567	274	293	10.1
八王子市	4 615	2 371	2 244	4 583	4 213	—	370	166	204	8.02
立川市	1 432	754	678	1 421	1 281	2	138	65	73	9.64
武蔵野市	999	506	493	992	703	8	281	138	143	28.13
三鷹市	1 572	777	795	1 548	1 254	7	287	128	159	18.26
青梅市	1 048	583	465	1 043	1 008	—	35	21	14	3.34
府中市	2 298	1 191	1 107	2 286	2 017	7	262	112	150	11.4
昭島市	975	510	465	971	893	1	77	43	34	7.9

調布市	1 873	993	880	1 828	1 508	4	316	156	160	16.87
町田市	3 835	1 985	1 850	3 670	3 414	3	253	129	124	6.6
小金井市	932	475	457	930	770	12	148	71	77	15.88
小平市	1 685	874	811	1 675	1 460	7	208	96	112	12.34
日野市	1 575	794	781	1 554	1 429	1	124	62	62	7.87
東村山市	1 300	695	605	1 286	1 211	2	73	43	30	5.62
国分寺市	962	507	455	941	791	6	144	76	68	14.97
国立市	541	295	246	537	485	1	51	26	25	9.43
福生市	399	208	191	395	356	—	39	23	16	9.77
狛江市	563	297	266	560	474	—	86	39	47	15.28
東大和市	756	349	407	752	713	—	39	17	22	5.16
清瀬市	643	335	308	641	603	—	38	19	19	5.91
東久留米市	950	499	451	933	884	4	45	29	16	4.74
武蔵村山市	725	364	361	722	700	1	21	8	13	2.9
多摩市	1 251	643	608	1 237	1 071	5	161	74	87	12.87
稲城市	928	457	471	926	777	2	147	79	68	15.84
羽村市	489	275	214	486	467	—	19	9	10	3.89
あきる野市	696	354	342	693	658	—	35	21	14	5.03
西東京市	1 632	816	816	1 612	1 399	8	205	94	111	12.56
瑞穂町	260	130	130	257	251	—	6	2	4	2.31
日の出町	195	94	101	193	183	—	10	2	8	5.13
檜原村	6	2	4	6	6	—	—	—	—	—
奥多摩町	21	9	12	20	19	—	1	1	—	4.76
大島町	55	27	28	53	51	—	2	1	1	3.64
利島村	4	1	3	4	4	—	—	—	—	—
新島村	23	13	10	23	23	—	—	—	—	—
神津島村	15	7	8	15	15	—	—	—	—	—
三宅村	14	6	8	14	14	—	—	—	—	—
御蔵島村	4	3	1	4	4	—	—	—	—	—
八丈町	50	26	24	50	50	—	—	—	—	—
青ヶ島村	1	—	1	1	1	—	—	—	—	—
小笠原村	30	16	14	29	28	—	1	—	1	3.33
(再掲)都立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注1) 調査対象校数には、調査年度新設校及び調査前年度末閉校を含む。

2) 立川市には、都立小学校を含む。(再掲)都立として内訳を計上している。

3) 「都内中学校等への進学者」のうち「公立」には、都立の中学校、区立及び市立の義務教育学校、区立及び都立の中等教育学校並びに区立及び都立の特別支援学校中学部への進学者を含む。

埼玉県9月県議会一般質問から 公立の魅力の拡大について

Q 新井一徳 議員(自民)

令和4年度入試では定員割れをした全日制の学校が59校ありました。その中には、毎年のように志願倍率の低い状況が見受けられる学校がありますが、入学志願者の増加に向け、県ではどのような検討がなされてきたのでしょうか。入学志願者数が伸び悩む学校の原因と対策について、教育長の御所見をお聞かせください。

続いて、伺います。

埼玉県議会では、中高一貫教育や国際バカロレア教育などを導入することについて、複数の議員が一般質問で取り上げてられました。時代のニーズではあるものの、市立や私立と違い広範囲を受け持つ県では、スピード感を持って改革していくことは難しいのであろうとも思っていました。

しかし、茨城県はこの3年で10校もの県立中高一貫校を開校しています。ちなみに、合計数は13校で全国最多を誇ります。また、4年連続で校長の公募を実施しているのですが、民間企業や官公庁で管理職経験のあることが必須条件であり、教員免許、教職経験は不問だということです。県には、内容以上にこの思い切りを是非とも参考にさせていただきたいと思います。

A 高田直芳 教育長

公教育を担う県立高校は、様々な生徒や保護者、地域のニーズに応じて教育を提供していくことが求められており、こうした多様なニーズに応えることができることが強みや良さと考えます。

例えば、普通科だけではなく農業や工業といった専門学科に加え、定時制や通信制があることや、地域との連携・協働による学びを展開したり、基礎的なことから学びなおしができることなど、生徒の多様なニーズに応える学校がございます。

これからの県立高校においては、こうした強みや良さを最大限生かしつつ、時代の要請に応えられる創造性豊かな人材を育成するため、より一層の特色化を図り活性化していくことが必要と考えております。そのため、再編整備に際しましても、こうした魅力ある県立高校づくりを進めていくことが重要と考え、平成30年4月に「再編整備の進め方」を公表し、特色ある学校づくりを推進しているところでございます。

令和4年7月には、新たに12校を6校に統合とする「魅力ある県立高校づくり第2期実施方策(案)」をとりまとめ、公表いたしました。

国際科や情報科といった新しい学科や、アニメーションを学ぶことができる美術に関する学科、実践型のビジネス教育に取り組む学科を設置する予定でございます。

県といたしましては、時代の変化も見据え、生徒や保護者、県民の方々からの様々なニーズに応えられるよう、これからも魅力ある県立高校づくりに取り組んでまいります。

埼玉県9月県議会一般質問から 私立高校授業料無償化の拡充について

Q 萩原一寿 議員(公明)

現在、中学校卒業後の高校などへの進学率は99%近くになっています。誰もが高校に進学する時代となることと引き換えに、保護者の負担が増えるようになりました。そうした中、授業料が実質無償化されている公立高校を希望してもかなわず、あるいは経済的な理由で希望する私立高校を諦めるケースが少なくありません。

このような公私間の負担格差を是正するため、我々公明党は私立高校授業料の無償化を強く推進してきました。令和2年度より国の私立高校への就学支援金が実質無償化となる39万6,000円まで一律に引き上げられ、その対象も年収590万円未満の世帯まで拡充しました。一方、本県においては、国の就学支援金に県単独の予算から上乗せして無償化の対象を年収720万円未満まで拡充しました。

その上で多くの御意見をいただいていたのが、埼玉県外へ通う生徒世帯の支援です。これは、国の就学支援金までの支援になっており、拡充を求める多くの声があります。私が住む川口はもとより、所沢や草加、新座など東京に隣接している生徒世帯は、埼玉県へ同じように税金を払っています。それを県外私立高校に通っている生徒世帯と県内私立高校の生徒世帯で支援が違うのは、公平性に欠けるとの厳しい声もいただけてきました。大野知事に質問です。本県における私立高校授業料無償化について御所見を伺います。また、県外に通う生徒世帯について支援を拡充すべきです。ここは知事の御決断しかありません。重ねてお尋ねします。

A 大野元裕 知事

現在、県外に通う生徒に対して先ほど申し上げた国の制度を上回る授業料補助を実施しているのは、関東近県では東京都のみとなっています。したがって、私が通っていた神奈川県慶應義塾高校と埼玉県慶應義塾志木高校では、埼玉県と神奈川県の相互関係においては、支援に差はございません。

県外の私立学校に通う生徒に対する授業料補助は全国共通の課題であり、補助水準の公平性の観点からすれば、国が就学支援金制度により、全国一律に拡充を図るべきと考えます。

このため、教育の機会均等を確保する観点から、就学支援金制度を拡充し、支給限度額の撤廃や所得要件の緩和を図るよう全国知事会とも連携をし、国に要望を既に行っております。

現状では、県外に通う生徒への支援は難しいものと考えておりますが、県議会をはじめ関係団体などの御意見を伺いつつ、県内私学の振興を図る観点から、私学助成の充実につき、検討を進めてまいります。

再Q 萩原一寿 議員 (公明)

県内の私学の振興についてのお話がありました。それは非常に私も大事だというふうに思いますけれども、じゃ県外に通っている生徒、また、生徒世帯について知事はどういうふうに支援のことを考えているのか。そのことも踏まえて、その件について御答弁をいただきたいと思っております。

再A 大野元裕 知事

令和2年度に年収約590万円未満世帯まで拡充された就学支援金制度についてお話しをさせていただきました。これにつきましては、県内外への通学に関わらず支援が受けることができます。

他方、県外の私立高校に通う生徒に対する授業料の補助については全国共通の課題であり、これも全国一律で充実を図っていくべきものと考えます。

現在、県内の私立高校に通う生徒には年収約720万円未満の世帯までの県単補助の実施をさせていただいておりますが、厳しい財政状況を勘案すると、これを拡大し、本県独自に県外の私立高校へ通学する生徒に補助をすることは、現時点では困難と申し上げざるを得ないと思っております。

引き続き、国へ就学支援金制度の拡充を粘り強く要望するとともに、県内私学の振興を図る観点を踏まえ、私学助成の充実を努めてまいりたいと考えております。